

リーマス錠 100

リーマス錠 200

【この薬は？】

販売名	リーマス錠 100 LIMAS tablets 100	リーマス錠 200 LIMAS tablets 200
一般名	炭酸リチウム lithium carbonate	
含有量 (1錠中)	100 mg	200 mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、精神神経用剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、中枢神経系に作用し、躁病や躁うつ病の躁状態の感情の高まりや行動を抑え、気分を安定化させます。
- ・次の病気の人に処方されます。

躁病および躁うつ病の躁状態

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・てんかんなど脳波に異常のある人
- ・心臓に重篤な障害のある人

- ・腎臓に障害のある人
- ・衰弱または脱水状態にある人
- ・発熱、発汗または下痢を伴う病気にかかっている人
- ・塩分摂取を制限されている人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・脳に器質的な障害のある人
- ・過去に心臓に障害があった人
- ・食事および水分摂取量不足の人
- ・甲状腺機能に異常がある人
- ・リチウムに異常な感受性を示す人
- ・過去に腎臓に障害があった人
- ・肝臓に障害がある人
- ・授乳中の人

○この薬には市販の薬を含め併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

	飲みはじめ	その後	維持量
1日量	400～600mg	3日～1週間ごとに、 最大で1200mgまで 少しずつ増やされます。	症状が改善したら、 200～800mgまで 少しずつ減らされます。
飲む回数	1日2～3回に分けて飲む		1日1～3回に分けて飲む

リーマス錠 100 とリーマス錠 200 があり、組み合わせて飲むことがあります。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

この薬の血中濃度が上がり、リチウム中毒という中毒症状（初期症状：吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、手足のふるえ、うとうと状態、意識が乱れる、発熱、汗をかく、手足の動きがぎこちない、ろれつがまわらない、ふらつき、まっすぐ歩けない、運動の障害、食欲不振など）があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・めまい、眠気などがあらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械類の操作は行わないようにしてください。
- ・この薬が十分な効果を発揮しリチウム中毒^{*1}を防ぐために、定期的に血液中の薬の濃度が測定^{*2}され飲む量が調整されます。医師が指示した受診日を守ってください。リチウム中毒と考えられる症状があらわれたら、ただちに医師または薬剤師に連絡してください。

*1 リチウム中毒の初期症状

- ・発熱、汗をかく、ふらつき、まっすぐ歩けない、運動の障害、食欲不振
- ・うとうと状態、意識が乱れる
- ・吐き気、嘔吐、ろれつがまわらない
- ・手足のふるえ、手足の動きがぎこちない
- ・下痢 など

*2 血液中の薬の濃度測定の間隔

飲み始めや薬の量を増やしたときは1週間に1回をめぐりに行われます。
薬の量が一定になったら2~3か月に1回をめぐりに行われます。

- ・次のような場合にもリチウム中毒があらわれることがあります。リチウム中毒と考えられる症状があらわれたら、ただちに医師または薬剤師に連絡してください。
 - ・食事や水分がとれない状態が続いたとき
 - ・脱水をおこしやすい状態になったとき（発熱を伴う病気にかかったときや、運動や炎天下の活動により過度に発汗し、水分補給が不十分だったとき）
 - ・非ステロイド性消炎鎮痛剤など（痛み止め、解熱剤、風邪薬などに含まれている場合があります）と併用したとき
- ・腎機能や甲状腺機能、血清カルシウム濃度を測定するために血液検査が行われることがあります。
- ・妊娠または妊娠している可能性のある人はこの薬を使用することはできません。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？


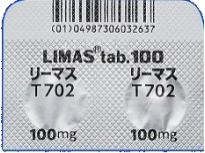

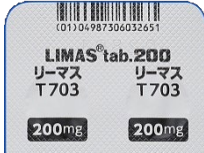




特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
リチウム中毒 リチウムちゅうどく	吐き気、嘔吐、下痢、手足のふるえ、うとうと状態、意識が乱れる、発熱、汗をかく、手足の動きがぎこちない、ろれつがまわらない、ふらつき、まっすぐ歩けない、運動の障害、食欲不振
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する
洞不全症候群 どうふぜんしょうこうぐん	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
高度徐脈 こうどじよみやく	めまい、意識の低下、意識の消失、息切れ、脈が遅くなる、脈がとぶ、気を失う
腎性尿崩症 じんせいにようほうしょう	尿量が増える、喉が渇く、多飲
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る
ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、息苦しい、尿が赤みを帯びる、むくみ、体がだるい、体重が増える
甲状腺機能低下症 こうじょうせんきのうていかしょう	疲れやすい、まぶたが腫れぼったい、寒がり、体重が増える、いつも眠たい、便秘、かすれ声、脱毛
甲状腺炎 こうじょうせんえん	吐き気、首のはれ、不眠、体重が減る、汗をかきやすい、眼球突出、胸がドキドキする、手指のふるえ
副甲状腺機能亢進症 ふくこうじょうせんきのうこうしんしょう	食欲不振、吐き気、腹痛、尿量が増える、喉が渇く
認知症様症状 にんちしょうようしょうじょう	記憶力の低下、計算ができなくなる、時間や場所がわからなくなる
意識障害 いしきしょうがい	意識の低下、意識の消失
薬剤性過敏症症候群 やくざいせいかびんしょうしょうこうぐん	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節（首、わきの下、股の付け根など）のはれ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、汗をかく、ふらつき、まっすぐ歩けない、運動の障害、食欲不振、高熱、体のこわばり、むくみ、体がだるい、体重が増える、疲れやすい、寒がり、体重が減る、汗をかきやすい、リンパ節（首、わきの下、股の付け根など）のはれ
頭部	うとうと状態、意識が乱れる、ぼーっとする、めまい、気を失う、立ちくらみ、意識の低下、意識の消失、いつも眠たい、脱毛、首のはれ、不眠、記憶力の低下、計算ができなくなる、時間や場所がわからなくなる
眼	まぶたが腫れぼったい、眼球突出
口や喉	吐き気、嘔吐、ろれつがまわらない、話しぶらい、よだれが出る、飲み込みにくい、喉が渇く、多飲、かすれ声
胸部	呼吸数が増える、息切れ、息苦しい、胸がドキドキする
腹部	腹痛
手・足	手足のふるえ、手足の動きがぎこちない、脈が速くなる、脈が遅くなる、脈がとぶ、関節の痛み、手指のふるえ
皮膚	発疹、皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹
便	下痢、便秘
尿	尿量が増える、尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、尿が赤みを帯びる
その他	血圧が上昇する

【この薬の形は？】

販売名	リーマス錠 100	リーマス錠 200
PTP シート	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>表面</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏面</p>  </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>表面</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏面</p>  </div> </div>
形状	フィルムコーティング錠  	フィルムコーティング錠  
直径	8 mm	9 mm
厚さ	3.3 mm	4.3 mm
重さ	206 mg	295 mg
色	白色～淡黄白色	白色～淡黄白色
識別コード	T 7 0 2	T 7 0 3

【この薬に含まれているのは？】

販売名	リーマス錠 100	リーマス錠 200
有効成分	炭酸リチウム	
添加剤	D-マンニトール、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、ステアリン酸マグネシウム、硬化油、酸化チタン、ポリビニルアルコール(部分けん化物)、カルナウバロウ、パラフィン、ショ糖脂肪酸エステル、ポリソルベート 80、軽質無水ケイ酸	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：大正製薬株式会社

(<https://www.taisho.co.jp/>)

メディカルインフォメーションセンター

電話：0120-591-810

受付時間：月～金 9：00～17：30

（土・日・祝日、当社休日除く）